

令和8年度 公益社団法人 日本精神科病院協会

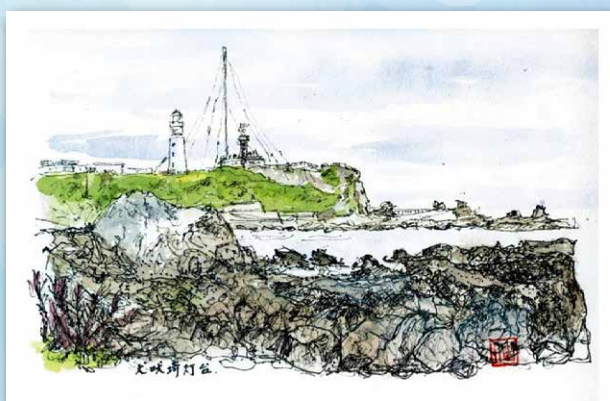


日本精神科医学会 学術教育研修会

精神保健福祉士部門

テーマ

「聴く」ことの再考
〜A I時代における精神保健福祉士の存在意義〜



開催日

令和8年

9月10日(木)～11日(金)

会場

TKP東京ベイ幕張ホール

(千葉県千葉市美浜区ひび野2-3)

主催：公益社団法人 日本精神科病院協会 日本精神科医学会

担当：日本精神科病院協会 千葉県支部

後援：千葉県、一般社団法人 千葉県精神保健福祉士協会



公益社団法人日本精神科病院協会／日本精神科医学会 学術教育研修会 精神保健福祉士部門開催にあたって

■学会長挨拶

平素より当学会の活動・運営にご理解、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、令和8年度の日本精神科医学会 学術教育研修会「精神保健福祉士部門」を千葉県支部に担当して頂き開催することとなりました。

公益社団法人日本精神科病院協会／日本精神科医学会では、学術大会や各研修会の他に職種別7部門の学術教育研修会を毎年開催しております。現場で活躍されている先生方の講演やシンポジウムを企画して頂き、担当して頂く支部の関係者の皆さまのご尽力により非常に有意義な時間を過ごすことが出来る研修会であります。

日頃、精神科医療に携っている職員の方が日々変化する現場への適応するための知識と技能を修得するにあたってこの学術教育研修会が果たす役割は、今さら申し上げるまでもございません。

関係者の皆様におかれましては、この研修会の意義をご理解頂き、多数の皆様が参加されますようよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人日本精神科病院協会
日本精神科医学会

学会長 **山崎 學**

■支部長挨拶

令和8年度日本精神科医学会学術教育研修会「精神保健福祉士部門」は千葉県で開催されることとなりました。

平成29年度と同研修会も千葉県において開催されましたので、8大会ぶりとなります。前回は精神保健福祉法改正直後ということもあり、特にシンポジウムでは、患者さんの地域移行を巡って、活発な意見交換が行われたことを記憶しております。

テーマについては、「聴く」ことの再考～AI時代における精神保健福祉士の存在意義～としました。

20世紀までは、「解らないこと」を調べるのは図書館や本屋、「困りごと」を相談するのはだれか頼りになるヒト、と相場が決まっていたと思います。ところが、皆様ご承知の通り、21世紀に入ってしばらくすると、「解らないこと」はスマホやPCの検索エンジンで解決を見出し、「困りごと」についても最近ではChatGPTなどの対話型AIに頼ることが増えつつあります。「日本の首都は東京」のような答えが決まっていることに関しては、それでOKでしょうし、有用だと思います。

一方で「なんで自殺してはいけないの？」や「この生きづらさをどう解決したらいいの？」などの問いに関しても、いまのAIシステムは、多くの専門家の意見を分析して回答するので、個々の質問に対して最適解を導くことは容易に予想されます。しかしそれで本当に質問した人は納得するでしょうか。ヒトの感情は常に揺れ動きます。またヒトは、言葉の内容だけではなく、口調や表情、その他非言語的なメッセージを常に発しているものです。精神科医療関係者のみならず、相談者というものは、押しなべて、そのような非言語的メッセージを読み取りつつ、困難な問いに相対しているはずで

精神科医療の現場において、「聴く」人は、医師、看護師、心理士ほか様々な職種が関わっていることは、異論はないと思います。ただし、地域移行を目指す入院患者さん、あるいは地域で暮らしているけれど生きづらさを感じている患者さんの声を「聴く」主役は間違いなく精神保健福祉士です。

現在日本の精神保健福祉士は様々な業務を背負っています。令和7年の法改正後、書類が多岐にわたり、処理数も増加しています。退院支援委員会などで求められる（多職種のハブとなって動き回る）こと、人権擁護の観点から多様な要求に答えることなど、大変なことは数え上げたらキリがありません。

このたびの研修会も、どのようなテーマ・内容にするか、実行委員会で活発な議論を繰り返し、詳細を形作りました。そして、「わたしが精神保健福祉士を目指す原点は何か、困っている人たちの声を『聴く』ことではなかったか、もう一度、その原点に立ち返ろう」ということも話し合ってきました。

こうしてできた研修会のプログラムは多様性に富んでいます。第1日目は、日本精神科病院協会会長の山崎學先生の、日本の精神科医療の今後を見据えた壮大な講演、日本の司法精神医学の第一人者である千葉大学五十嵐禎人教授の講演、働く人々のメンタルヘルスの課題と対応に尽力されてきた山内直人先生の講演です。さらにシンポジウム1として、千葉県で令和7年11月に開催された精神科病院協会・弁護士会・精神保健福祉士協会同イベント「精神保健福祉と司法」の熱気あふれた討論を振り返ります。

第2日目は、「令和7年度障害者総合福祉推進事業“精神科病院における入退院支援等の実態調査”と精神科病院における精神保健福祉士の役割」を、日本精神科病院協会常務理事の中島公博先生に講演いただき、また京都大学名誉教授の広井良典先生に「ケアと現代社会」のビデオ講演をしていただく予定です。最後にシンポジウム2として、いままでのプログラムの集大成として、「『聴く』ことの意味を再び考える」といった内容を企画しております。全国からご参集いただき、聴取者の方に必ずやご満足いただける内容と自負しております。

最後に千葉県の宣伝を少し。千葉県は三方を海に囲まれた温暖な気候で、夏冬の寒暖差が少ないことで知られています。海の幸も山の幸も大変豊富であります。また夢の国のネズミさんや、謎の梨の妖精も生息しています。皆様のご参加をぜひお待ちしております。

公益社団法人日本精神科病院協会
千葉県支部長 **小松 尚也**

第1日目 9月10日(木)

●10:00～10:30 受付

●10:30～10:50 開講式

開会挨拶：小松 尚也（日本精神科病院協会 千葉県支部長）

学会長挨拶：山崎 學（日本精神科医学会 学会長）

●10:50～11:50 会長講演

演 題：「精神科医療を取り巻く環境の変化」

講 師：山崎 學（公益社団法人日本精神科病院協会 会長）

座 長：小松 尚也（日本精神科病院協会 千葉県支部長）

●11:50～12:50 昼食・休憩

●12:00～12:40 ランチョンセミナー（大塚製薬）

●12:50～13:50 特別講演

演 題：「地域で生きるを支えるー医療観察法退院後の地域支援の現状と課題」

講 師：五十嵐禎人（千葉大学社会精神保健教育研究センター 教授）

座 長：小松 尚也（日本精神科病院協会 千葉県支部長）

●13:50～14:00 休憩

●14:00～15:00 教育講演

演 題：「対人援助職のメンタルヘルス」

講 師：山内 直人（医療法人爽風会心の風クリニック千葉前院長・
千葉産業保健総合支援センター）

座 長：菊池 周一（社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院 院長）

●15:00～16:30 シンポジウム1

テ ー マ：「精神科病院協会・弁護士会・精神保健福祉士協会合同イベント
『精神保健福祉と司法』を振り返る」

シンポジスト：鶴岡 義明（医療法人白百合会 大多喜病院 院長）

及川 智志（市民の法律事務所 弁護士）

堀池 恵美（医療法人学術会 木村病院 精神保健福祉士）

座 長：木村 大（医療法人学術会 木村病院 理事長）

●17:10～19:40 懇親会

第2日目 9月11日(金)

●9:00~10:00 特別講演

演 題：「令和7年度障害者総合福祉推進事業“精神科病院における入退院支援等の実態調査”と精神科病院における精神保健福祉士の役割」
講 師：中島 公博（医療法人社団 五稜会病院 理事長・院長）
座 長：浅井 禎之（医療法人静和会 浅井病院 理事長）

●10:00~10:10 休憩

●10:10~10:40 教育講演(ビデオ講演)

演 題：「ケアと現代社会」
講 師：広井 良典（京都大学名誉教授）
座 長：山崎 久之（千葉県精神保健福祉士協会 会長）

●10:40~11:10 鼎談

演 題：「ケアを読み解く」
鼎 談 話 者：山崎 久之（千葉県精神保健福祉士協会 会長）
松田 裕児（船橋市児童相談所 精神保健福祉士）
西野 里子（医療法人鳳生会 成田病院 精神保健福祉士）

●11:10~11:20 休憩

●11:20~12:50 シンポジウム2

テ ー マ：「本大会を振り返り『聴く』ことの意味を考える」
シンポジスト：渡邊 哲也（公益財団法人復光会 総武病院 精神保健福祉士）
富塚 彰人（医療法人同和会 千葉病院 精神保健福祉士）
新井 尚美（医療法人同和会 千葉病院 精神保健福祉士）
安藤 知行（freeval川戸 精神保健福祉士）
コメンテーター：浅井 禎之（医療法人静和会 浅井病院 理事長）
司 会：山崎 久之（千葉県精神保健福祉士協会 会長）
西野 里子（医療法人鳳生会 成田病院 精神保健福祉士）

●12:50~13:00 閉講式

受講証書授与：山崎 學（日本精神科医学会 学会長）
感謝状授与：山崎 學（日本精神科医学会 学会長）
学会会長挨拶：山崎 學（日本精神科医学会 学会長）
閉会挨拶：小松 尚也（日本精神科病院協会 千葉県支部長）

※敬称省略

開催概要

開催日 令和8年9月10日(木)～11日(金)

会場 TKP東京ベイ幕張ホール
〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2-3 TEL:043-296-1112

参加対象者 精神科医療に関与している精神保健福祉士、等

定員 200名

受講料 ①日本精神科医学会会員(=日精協会員病院職員)及び準会員……18,000円/人
②会員外 ……………20,000円/人
③将来、精神保健福祉士の職員を希望している学生……………1,000円/人

○会員・会員外についてご不明な場合は、日精協HPか御所属施設の事務ご担当者様にお問合せください。

○上記金額には初日(9月10日)の昼食料金も含まれております。

○入金後の受講料の返還はいたしません。受講申込者が欠席される場合は、代理の方のご参加は可能です。

○領収書は振込依頼書をもって代えさせていただきます。

懇親会費 10,000円/人

○入金後の懇親会費の返金はいたしません。参加申込者が欠席される場合、代理の方のご参加は可能です。

申込方法 ①下記のリンク及びQRコードからお申込みをお願いします。

<https://amarys-jtb.jp/nisseikyo2026/>



②受講申し込み画面より以下の事項を入力の上お申し込み下さい。

○受講者氏名、かな氏名、性別、年代、メールアドレス、職種、会員番号、所属先名、郵便番号、住所、電話番号、懇親会参加の有無、宿泊・宿泊場所について

※会員番号は所属施設の事務ご担当者にご確認ください。

③申込後、振込のお手続きをお願いします。送付されたご案内を確認のうえ、受講料及び懇親会参加の場合は会費を、宿泊お申込みの場合は宿泊費用を2週間以内にお振込みください。

④入金の確認ができた方へ入金確認のメールをお送りいたします。

振込先 銀行名:みずほ銀行(0001) 支店名:十二号支店
口座種類:普通預金 口座番号:1277503
名義人:株式会社JTB 名義人カナ:か)ジエイティービー

申込期限 令和8年8月10日(月) 17:00まで

お問い合わせ

事務局：日本精神科病院協会千葉県支部

研修会事務局（担当：服部）

〒274-0822

千葉県船橋市飯山満町2-508 医療法人同和会千葉病院内

TEL：047-466-2176

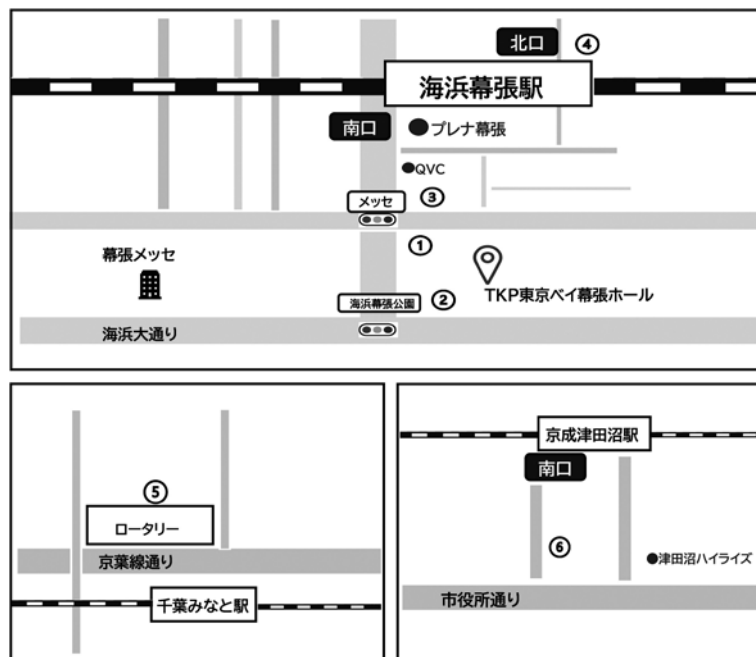
研修会運営：株式会社JTB 千葉支店

宿泊施設のご案内



宿泊はJTBでお手配いたします。

宿泊予約は右記QRコードよりお申込みください。



大会前日宿泊・当日宿泊に向けてのホテル一覧

①ホテルニューオータニ幕張	千葉市美浜区ひび野 2-120-3	TEL.043-297-7777	南口徒歩 5分
②アパホテル&リゾート	千葉市美浜区ひび野 2-3	TEL.0570-070-111	南口徒歩 7分
③ホテルグリーントワー幕張	千葉市美浜区ひび野 2-10-3	TEL.043-296-1122	南口徒歩 3分
④ホテルスプリングス幕張	千葉市美浜区ひび野 1-11	TEL.043-296-3111	北口徒歩 2分
⑤ホテルポートプラザちば	千葉市中央区千葉港 8-5	TEL.043-247-7211	徒歩 1分
⑥ベッセルイン京成津田沼駅前	千葉県習志野市津田沼 5-12-4	TEL.047-453-7000	南口徒歩 1分



【表紙の水彩画について】

すべて、故仙波恒雄先生の筆による作品です。

仙波先生は、医療法人同和会千葉病院の3代目の院長を37年間務められて、平成12年度から平成15年度までは日本精神科病院協会の会長を務められました。

また仙波先生は多忙な仕事の傍ら、趣味の絵画に親しみ、膨大な作品を後進に残しました。それらの作品を当病院のみならず、NPO法人船橋こころの福祉協会その他大勢の関係者に寄贈されました。

右上と左下は先生のテーマであった植物画の代表作であります。

右下の風景画は、病院所在地である、船橋市の中心部を流れる海老川と、そこを横切る橋の、在りし日の光景です。現在はコンクリート製の防波堤ができています。

左上は銚子市の犬吠埼の灯台です。仙波先生は平成21年から、銚子市の診療所へ80歳にして、所長として赴任されました。その後、精神科医としての仕事は後進に譲りましたが、絵筆に関しては亡くなる直前まで闊達に動かされていたとご遺族からお聞きしました。

仙波先生をご存知の方々には、在りし日の先生のお姿を偲んでご鑑賞いただければ無上の喜びであります。

日本精神科病院協会千葉県支部長
第5代同和会千葉病院院長 小松尚也